



新しく就職された方々へ

豊かで楽しい人生を

医療法人近森会 ● 近森 正幸



理事長に就任して二十年、私たちの描いた病院らしい病院の形がようやくやぐでき上がってきたように思います。病院らしい病院とはなにか、そしてこれからの病院のあり方について、お話ししたいと思います。

二十年前を振り返ると、患者さんを生懸命診るだけで利益が出る時代でした。ただその利益をどう使うかによって、将来の姿が変わってきたのではないかと思います。わたしたちは病院の利益を、医療の質の向上と、職員のスタッフの資質の向上にそのすべてを使ってきました。

豊かな地域医療をつくっていくという、大きな夢の実現ためには当然のことだったといま振り返ります。本院は急性期特定病院、地域医療支援病院DPC調査協力病院、ICU・CCU・HCUの開設、医療機能評価機構の再認定、近森リハビリテーション病院の一八〇床の全国一の回復期リハビリテーション病棟、急性期の精神科医療と精神障害者の在宅サポートという、こうした病院・施設とシステムが互いに連携しあいながら動き始めています。

人を育てる「臨床研修病院」として四月一日からは一〇名の研修医が来てくれたことは画期的なことといえます。看護部は新しい看護師長が誕生したところ、業務に縛られずに、教育や感染対策、医療安全といった専任の看護師長さん

を配属することができましたし、チーム医療としてリハビリテーションとともに栄養サポートチームが育つてきてくれたことを頼もしく思っています。

「まっとうな医療をやりたい」。そんな思いがあり、志を高く持ち、目先の利益とか自分の利益を追わない、そうした医療の基本に取り組んで参りました。そして今日の近森会があるのは、こうした理念に賛同してくれる医師、スタッフたちのおかげだと思っています。

「医療は人」だということはよくいわれますが、マンパワーを充実させてきたことが近森の風土といえます。研修医を始め、新しいスタッフの方々にも、近森という舞台で大いに自分の才能を開かせて欲しい。教育や研修にも力を注いでいますので、大いに研鑽を積み、仕事は面白いものだということを知っていただくと同時に、人生をおもしろがり楽しむ人たちであってほしいと願っています。

これまでさまざまな記念のときには、パーティーなどを開いて喜びを分かち合い、毎年の職員旅行では、海外旅行で見聞をひろめてまいりました。スタッフの人間性が豊かになればなるほど、いい医療を提供することができると信じています。スタッフも家族も、そして患者さんも豊かで楽しい人生を送れる、そんな病院であってほしいと願っています。

最近、外食をするときは「ヴィラヴィティス」で食事をする機会が多い。他にもさまざまな分野の料理店がそれぞれに頑張っていると思うが、少なくとも「ヴィラヴィティス」は、イタリアンとして味は全国トップレベルではないかと思っ

こだわりのイタリアン

医療法人近森会理事長

近森 正幸

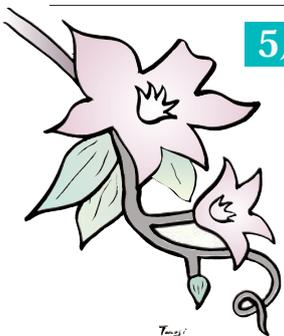
なく、イタリア産のチリメンキヤベツ、アンデープ、ラディキョ、フランスの白アスパラガス、ランド地方のフォアグラス、スペインの生ハム、ノルウェー産の小羊など、世界中から美味しい食材を集めている。

いつも私が日曜市で利用している店で、旬のルッコラやハーブ、トマトなどのこだわりの野菜をシェフが求めているのを知って、なによりも食材をしつかり吟味しているのに感心させられる。

料理にしても、完熟トマトのソースにノレソレを配した料理や、アワビのリゾットとか、漫然としていてはちよつと思いつかない料理で、食材の組み合わせは天才的だと思う。火の通しや塩加減も完璧で、料理に対する高い志がこの店をつくっているように思える。(理事長・ちかもり まさゆき)

5月の歳時記

クレマチス



第 二分院作業療法室作業療法士 北野 知地
クレマチスはキンポウゲ科センニンソウ属の総称で、その中でも、つるが細くて丈夫で針金のようなことからそう呼ばれる「鉄線」や花の形がそれに似ている「風車」がよく知られています。

つるの性宿根草の植物で、華やかな咲き姿の中にも、渋さと素朴さを併せ持つ花です。花言葉は「精神的な美しさ」や「旅人の喜び」など。

第11回リハ塾
講演会の報告

リハ病院の

今後のあり方

リハ塾塾頭 在宅総合ケアセンター近森

小笠原正

平成17年3月24日、初台リハビリテーション病院より、院長の石川先生・リハ部長の伊藤さんをお招きし、第11回リハ塾を開催しました。

まず1部では、リハグループ全職員を対象に、石川先生よりこれからのリハビリテーションのあり方について、特に回復期リハ病

院のあり方、方向性について講義をしていただきました。内容は、今後の近森リハ病院の方向性について、全国回復期リハ病棟連絡協議会の調査資料を基に講義され、当院の位置づけや、今後のリハ病院のあり方について、参考になるお話でした。



第2部は場所を変え、春野の湯にて、リハグループ管理職（リーダー以上）を対象にリハ塾（合宿研修）を行いました。内容は、まず伊藤さんより維持期リハ（特に訪問リハ）に関する考え方、在宅ケアの今後の方向性について講義をしていただきました。またその後、6グループに分かれ、それぞれのグループで、質問事項をまとめ、全体でディスカッションを行ないました。ディスカッションでは、今後の我々の方向性から、プライベートな内容までいろいろな質問や議論が行なわれ、予定時間を1時間余り越える盛り上がりで

した。このように各部署のリーダーが集まり、また現在のリハグループの基礎作

りに関わった石川先生や伊藤さんを囲みゆつくりと話ができる機会は少なくなり

ましたので、今回の研修会は非常に有意義な会になったと思います。

第26回地域医療講演会

日米の感染対策の現状

サーベイランスと外部評価

近森病院副院長 北村 龍彦

感染管理の重要性はいまさら述べるまでもないことですが、病院内で新たな感染が生じることは患者さん

第26回地域医療講演会（3月25日金曜日開催）では「日米における感染対策の取り組み」外部評価とサーベイランスの現状という

がありまして。外部評価として日本医療機能評価機構の認定制度とAPIC（米国感染症専門家協会）のメンバーによる

感染を未然に防ぐこと、いったん感染が生じた場合は適切に管理しアウトブレイクを生じさせることなく短期間に治療を終えることが基本であります。

はじめに、済生会熊本病院のTQMセンターの家人裕子ICN（感染管理認定看護師）から自院での感染管理の取り組みの紹介

が、特に昨年から実施されているAPICのメンバーによる、認定ではない改善のためのサーベイの現状やSSI（手術部位感染）サーベイランスの具体的な取り組みと効果について講演して頂いた。近森病院でも講演会の1週間前にAPICメンバーによるサーベイを受けたばかりで、会の終了後の懇親会ではICN間で疑問点の交換や同じ悩みを共有していたようです。



左3人目が坂本史衣 ICP、5人目が家人祐子 ICN



盛んに質疑応答が行われた

もう一人の講師は聖路加国際病院の医療安全管理室の坂本史衣ICP（感染管理実践者）で、彼女は米国

のCBICの認定資格（CIC）を持つ感染管理の専門家です。米国での生活も長く、日本看護協会のICNの講師でもあり、近代における感染管理の歴史から日本の医療機能評価機構設立時に参考にしたJCAHO（保健機関認定合同審査会）の歴史やその認定の利点（Medicare（高齢者の公的保険）の認可の取得）などと、その目指している目標・指標・使命などを詳細に述べていただきました。

現在米国で最も重要な患者安全に関する2005年の国家患者安全目標の紹介と、感染に関する具体的な内容やJCAHOがケアの安全と質に焦点を当てた新たな審査・認定プロセスと感染管理分野の評価項目の紹介、医療関連感染率の公表の動きなど、米国が取り組んでいる継続的な質の改善の重要性を紹介・強調され、米国の現状が初めての方には難解な部分も見られたかもしませんが、この会の参加者はじめ日本のすべての医療機関で非常に重要な要素と考えられました。今後も両講師と連携をとりながら、感染管理の向上に努めたいと考えます。

研修医受け入れの意味と今後の展望



近森病院副院長
北村 龍彦

平成16年4月から新医師臨床研修制度が始まりました。以前の臨床研修との差異はいくつかありますが、大きな差異は診療に従事しようとする医師には大学付属病院または臨床研修指定病院での臨床研修が義務化されたこと、臨床研修指定病院の要件緩和と研修病院群の整備・研修医と研修病院のマッチング（希望組み合わせ）、研修内容の整備などです。

新しい臨床研修体制も数年後には見直しが図られ、卒前教育の改革とともに卒後臨床研修体制の整備が進んでいく予定です。

マッチング結果の平成15年と16年を比較すると研修医と参加病院両者とも増加し、マッチ率は95%と高率を維持し平成16年では臨床研修病院には47・3%、大学病院は52・7%であり平成15年の41・2%と58・8%から臨床研修病院への研修医数の増加が見られました。このことから、2年目を迎えるようとして、医学生研修医の卒後臨床研修に對する考え方・取り組み方が従来の教室・医局主体の研修から大学病院以外の臨床研修指定病院にシフトしている状況が見て取れます。

今後この動きは加速するとの見方が一般的でありあります。

高知県の研修医数も平成16年45名で、平成17年には47名と増加し、うち近森病院の研修医は10名となっています。これら研修医の数・マッチ率・定員割れの問題など、いろんな見方があるでしょうが、これからは

すべきです。

近森病院は平成16年度に救急部門の協力型の研修医を9名受け入れ、マッチングに参加した平成17年度は管理型として、10名の研修医と協力型として救急部門の研修医を受け入れます。

近森病院初期研修プログラムの参加するすべての医師・コメディカルが丸となり、よき医療人育成に当たる必要があります。

今回の新医師臨床研修制度は、初期臨床研修に関する制度であり、初期研修が終了すれば専門性を高める後期研修があり、大学へ戻るかどうかの選択や、後期研修がすまば医師としてどのような医療を展開していくのかの選択が求められることにます。もちろん初期臨床研修病院を選択する時点から自己の進路設計ができていく場合もあります。

医師、医療人としての人格形成、経験の蓄積に関し、大学と研修病院の間に密接な連携がより求められてきます。近森病院の医師確保に関しては以前からの大学病院からのローテーションの医師や、直接就職希望の医師、そして近森病院の臨床研修制度で育った医師

院外エッセイ

アナウンサーは挨拶の専門家ではありませんし、もちろん挨拶の達人でもありませんが、この挨拶についてよく質問を受けます。

そこでコミュニケーションの入り口とも言える『挨拶』。気持ち良くできるようにするためにはどうすればいいのか。達人になるためのプロセスを私流で難易度別に八つにランク付けしてみました。

挨拶レベル 8段階



井津 葉子

昭和34年大阪市生まれ、現在、高知放送編成報道局報道センター専門部長。57年関西学院大文学部ドイツ文学科卒。同年高知放送入社。現在に至る。担当番組「どっきんてれび」

『レベル1』人に会った時、ちゃんと目を見ることが出来る。アイコンタクトは大事ですね。『レベル2』相手を認識したら笑顔で会話ができる。『レベル3』挨拶されたら、ちゃんと返すことができる。『レベル4』まず自分から挨拶する。「先に挨拶したほうが勝ち」とまでは言わないまでも、少なくとも先に挨拶すると自分が気持ちいいです。『レベル5』ちゃんと聞こえ

ベル6』明るく元気のいい声で挨拶できる。『レベル7』相手を選ばず、誰にでも公平に挨拶できる。目上か目下かなど考えずに誰にでも自然に声が出せるということ。『レベル8』挨拶

『挨拶』には、した人もされた人も気持ち良くなれる『力』があるのではないかと思います。病院という環境ではその力はより大きくなることでしょう。より多くの方がその力を発揮されますように。

挨拶を一言の決まり文句で済ませない。相手に合わせ、二言目を添えることができる。

さあ、あなたのレベルは、どのあたりでしょうか。ある会でこの八つを紹介したところ、目を合わせるアイコンタクトが結局一番難しいのではないかと聞きました。何が苦手かは人によって違うかもしれませんが。

そんなこんなで、こそり人の挨拶をチェックする習慣がついてしまいましたが、結果、挨拶上手の人が周りに意外に多いことにも気づかされました。有り難いことです。

べての病院が研修成果の説明責任を要求されることでしょうか。

近森病院は平成16年度に救急部門の協力型の研修医を9名受け入れ、マッチングに参加した平成17年度は管理型として、10名の研修医と協力型として救急部門の研修医を受け入れます。

近森病院初期研修プログラムの参加するすべての医師・コメディカルが丸となり、よき医療人育成に当たる必要があります。

医師、医療人としての人格形成、経験の蓄積に関し、大学と研修病院の間に密接な連携がより求められてきます。近森病院の医師確保に関しては以前からの大学病院からのローテーションの医師や、直接就職希望の医師、そして近森病院の臨床研修制度で育った医師

など多くの人材確保の道ができてつつありますが、その体制整備と対応が一段と求められます。

近森病院が果たすべきCSR（社会的責任）の一環としてこの新医師臨床研修体制はようやく歩みだしたばかりですが今後に向けて重要な意味を持つものがあるのも事実です。

薬用酒アラカト13 『ブント酒』 文と画:薬局 嶋崎 ユリカ

今回は、みずみずしい土佐の果実をお酒にしてみました。素材は日曜市をぶらりと歩いて見つけました。

- <材料>(密閉容器 1L分)
- 文旦 400g
- 文旦の皮(外皮) 少量
- ホワイトリカー 600g



- <作り方>
 - 1 文旦はまず、外皮をむき、内側の白い綿までできるだけきれいに取り除く。
 - 2 実は適当な大きさに切り、少量の外皮(黄色い部分のみ)とともに漬け込む。
 - 3 一か月ほどで飲めるようになるが、熟成が長いほどおいしいリキュールになる。
- 文旦には、ビタミンCやミネラルの他、ギ

ャバ、オーラプテンが含まれています。ギャバはイライラ、不眠、高血圧、中性脂肪、お肌の老化防止などに、オーラプテンは皮膚ガンなどの発ガン制御に効果があるといわれています。

漬け込んでから約一か月後のひろっぴ編集委員による試飲会では、まず、さわやかな文旦の香に感動、どんな味がするのか期待が膨らみ、ロックで飲んでみましたが、感想は「苦い」。ガムシロップをちょこっとたらすと一転、「やっぱり美味しい!」。子供の頃、母が文旦に砂糖をかけて食べさせてくれたことを思い出すような、なんだか懐かしい味になりました。サイダーやトニックで割って飲んでおいしいそうです。ぜひお試しを!

第1回 MVP バッジの贈呈式



第1回 MVP は2004年によく頑張った17名に年末の忘年会で授与され、この度バッジの贈呈式が行なわれました。

新しい近森の医師たち



佐々木 司

ささきまもる①リハ病院 リハ科②島根県浜田市③山口大学医学部④愛せしものは「美女」「美酒」「美食」なれど、容室の如く鯨飲能わず眺めるのみ。好みし物は書籍も頭には入らず。これも可し。



河野 真介

こののしんすけ①整形外科②愛媛県③高知医科大学(現高知大学)④趣味はつり・飲酒・スポーツ観戦・映画・料理等ですが、封印して仕事人間になろうと思えます。



黒木 啓之

くるきたかし①整形外科②東京都③昭和大学④急性期医療(特に外傷疾患(多発外傷)、集中治療を得意としています。



第27回地域医療講演会のご案内

演題 先天性心疾患術後フォローアップと

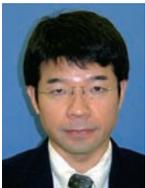
成人になった先天性心疾患

— みんなで見ましよう、問題点と大事な点 —

講師 河田政明先生 自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児心臓血管外科 教授

日時: 2005年5月26日(木) 18:30~

会場: 高知市文化プラザかるぼーと 11階大講義室



目崎 一成

めさきかずなり①放射線科②広島県③高知医科大学(現高知大学)④長女(5カ月)のお世話に夢中。



松尾 光胤

まつおこういん①整形外科②中村市③高知医科大学(現高知大学)④7カ月になる息子を溺愛する子煩悩なパパです。意外とラッパーな一面もあるので(?)気軽に声を掛けて下さい。

私は旅行が好きです。といつももしっかりと計画だてたものより、いきあたりばつ旅という感じのものが好きです。

リレーエッセイ

スーパーにて



医療福祉部 山田 史

いると横から、中高年の方が、「これどうやって買うの?」。量り売りだったのですが、量りが動いていませんでした。「会計でできますよ」と前日覚えたばかりのマメ知識で答えられたのですが、東洋人の少ない土地で、みるからに西洋人に聞かれたので驚きました。実に普通で聞かれ、答えたあとも驚いたままの私を置いておばさんはゆうゆうとカートを押していきま

ました。真の国際化とは、なにと柄にもないことを考えました。 難点は、スーパーは普通

いたり!なので帰るときには、1mくらいを生ずるめや魅が紙袋をひとつ占領したり、買い出し部隊のように、色気のない荷物がたくさんあつたりします。 土地の人たちも楽しいです。海外のスーパーで果物おいしそう、と思つて

大都会の中心部や観光地には少ないので、時間に余裕がないと楽しめないということ。そして、一緒に行った人と趣味が合わない、「もっと楽しめるところに行こう」と理解されない恐れがあります。地味な楽しみですか?

第11回クリニカルパス大会

冠動脈バイパス術のパス

日時: 2005年5月14日(木) 9:00~12:00

会場: 高知城ホール

こんにちは、新しい近森のみなさん

臨床研修医

三木俊史 みきとしふみ①臨床研修医②徳島県③高知大学④大学ではサッカーをやっていましたが、小・中は野球少年でした。これからも時間があればやっていきたいので、いつでもさそって下さい。

瀬良誠 せらまこと①臨床研修医②広島県③高知大学④サッカー大好きです。サッカーしてる人、ぜひ誘って下さい。

西本陽央 にしもとよう①臨床研修医②土佐清水市③高知大学④高知県の医療を変えよう男になりたいです。「ヨウ」と呼んで下さい。新婚ですが、飲み会には絶対いきます。けっばります。

礮山友子 いそやまゆうこ①臨床研修医②福岡県③九州大学④好きな食べ物は明太子ととんこつラーメン。応援している球団はソフトバンクホークス（まだ、たまにダイエーと言ってしまう）。典型的な博多人ですが、縁あって臨床研修をさせていただくこととなりました。土佐弁と博多弁の融合を狙ってます。見かけたら、気軽に声をかけて下さい。

隅田陽子 すみだようこ①臨床研修医②南国市③高知大学④高知生まれの典型的土佐っ子です。みなさん、一緒に飲みに行きましょう！

小林純子 こばやしじゅんこ①臨床研修医②鳥取県境港市③鳥取大学④私の苦手なものは、高い所と泳ぐこと、失敗した時の冷やかな目線です。(-_-) (冷) 心臓外科医を

指しています。

久保山智世 くぼやまともよ①臨床研修医②福岡県③九州大学④近森会の活気と考え方に魅かれて福岡から来ました。自分の言葉が標準語か方言か分からない時があります。不明なときは気軽にお尋ね下さい。

古谷敏昭 こたにとしあき①臨床研修医(外科)②吾川郡③高知大学④趣味はテニスと水泳。大学時代は部活動でテニスばかりやっていました。太陽の下で体を動かすことが大好きです。

田中孝明 たなかたかあき①臨床研修医②高知市③昭和大学④小学校以来の高知なので、高知のことも色々教えてください。2年間よろしくお願いします。

杉山淳一すぎやまじゅんいち①臨床研修医(内科)②大阪府③高知大学④高知の山と海が大好きな釣り吉です。



後列左から久保山、古谷、田中、杉山中列左から礮山、隅田、小林前列左から三木、瀬良、西本、

去る4月9日高知市文化プラザかるぼーとにて第2回公開県民講座をわれわれ整形外科が担当して開催致しました。テーマは「中年以降の首、腰、膝の異常・あなたは調子が悪くて困っていませんか?」として、1、「肩こりや手足のしび

第2回公開県民講座の御報告 700人以上が聴講

近森病院整形外科部長
衣笠 清人



れ感」(頸椎症)を西井幸信医師が、2、「腰痛、下肢の痛みやしびれ感」(変形性脊椎症と骨粗鬆症)を道中泰典医師が、そして、3、「O脚と膝の痛み」(変形性膝関節症)を私が担当して、疾患そのものや診療の内容について約30分ず



つ話をさせていただきました。途中ストレッチングを兼ねてPT&ナースによる肩こり体操の実演なども行いました。第1回目の循環器系の病気と異なりこれらの病気は

直接命に関わるものではないため、一般の方々の関心をどれだけ集められるかなり不安がありました。ひよっとして100

人ぐらしか来ていただけなのではないか、とも思っていました。ところが当日は700人以上の方々に来ていただき、あらかじめ

作っていたパンフレットが足りなくなるほどでした。会場を見渡すと中高年の方々が大多数で、その中に杖をついているお年寄りもたくさんお見かけしましたので、この年代の方々がいかに首、腰、膝に不調を抱えておられるのか、そして興味を持ってもらえるのかを再認識する事ができました。

どの程度の内容のお話できたのか、また来ていただいた方々にある程度満足していただけたのかどうかは分かりませんが、まずは



盛会のうちにこの公開県民講座を終えることができ、ほっとしています。

今後機会があれば、一般の方々に整形外科の内容を少しでも知っていただく

ためにも、積極的にこのような活動を続けたいと思います。最後にこの会の運営

に携わっていただいたすべての方々にこの場を借りて深く感謝申し上げます。

科長就任の抱負

整形外科 西井 幸信



熱●烈●応●援



徳孤ならず必ず隣あり

(論語・徳は孤立せず、必ず有徳の人が助けられるものだ)

リハ病院事務長補佐
松本 充夫



平成16年5月から衣笠部長、道中部長のもと整形外科医として勤務して参りました。近森病院は院内のスタッフそれぞれの職務に対して責任とやる気を持っていて、非常に働きやすい職場だと感じています。

す。6月にも1人異動がある予定で、短期間に医師が変わる状況にあります。そうした状況の中で科長として自己の修練、後輩の指導を行い、医療の質を維持さらに向上していきたいと思っております。

前職より転職し1年9カ月。総務課、企画情報室、そして今回リハビリテーション病院事務長補佐を拝命しました。これはひとえに皆様のご指導のおかげであり、職員の方々、近森会に携わる企業の皆様には本当に感謝しております。

現在のリハ病院は全国で代表する回復期リハ病院であり、日々病棟では患者様を中心としたチーム医療が展開されています。また平成18年には診療報酬の改定を控えており、これから当院は更なる飛躍へのチャンスである「高機能型の回復期病棟」をめざして、職員

もまだ短く、整形外科医としてもまだまだ習得すべき事が山積みです。そんな中、今年4月1日に整形外科科長の辞令を受けました。科長就任は身の引き締まる思いです。

若輩者ですが、諸先生方、周囲のスタッフと協力して整形外科医として近森病院を盛り立てていく所存ですので、これからもよろしくお願ひ致します。

これからは分りませんが、少しでも松木リハ部長兼事務長を支えながら、また法人とのパイプ役をしっかりと果たせるよう一生懸命頑張ります。若輩の身でありますので、皆様方のご指導ご支援を頂きながら業務を遂行して行きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

4月の人事異動で4人の医師が転動して、新しく3人の医師が勤務することとなり、現在整形外科は8人で





JR土佐山田駅 至八王子宮

佐野内科リハビリテーションクリニック

商店街

国道195号線

院長コメント

近森リハビリテーション病院、近森病院の6年間の後、かねてより大ファンだった『いのちばんざい』の小笠原望先生のもとで2年間、外来から訪問診療まで行なう「町医者」をご一緒させていただきました。そして平成17年4月オープンしました。地域のかかりつけ医の一般内科として、「からだの元気」と「こころの元気」のお手伝い、外来でのリハビリテーションをスタッフみんなで行なっております。



診療科目 内科、心療内科、リハビリテーション科
住所 土佐山田町東本町 3-2-41
e-mail sanoreha.m.c@sky.guolia.com
院長紹介 佐野良仁 / s 46年6月25日 / 土佐山田町生まれ / 趣味は弓道、釣り



土佐山田町八王子宮への道と商店街交差点から少し西へ行った北側

毎年1回か2回は風邪を引くのだが、不思議と今年の冬は引かなかつた。何か特別なことをしたわけでもないが、風邪を引かなかつた。風邪を引いて咳や鼻つまりに苦しみながら仕事をしている人々と一緒にいて、風邪をうつされたかと思っても、うつされなかった。それなのに、いつの間にかうつされたかというような時に風邪を引いていた。

これまでは、案外風邪がうつされるかもしれないという警戒心が一番いい予防方法なのかもしれないと、我ながら思ってみた。しかしながら、毎日風邪ひくかもしれないという思いで生きていくのは息苦しい。健康をまったく気にしない生活も考え物だが、年に1回か2回は風

邪引くときもあるさというくらいのが、健康であることは大事なことだが、それが目的ではない。テレビや

健康について

泌尿器科医師
香西 哲夫

雑誌などで様々な健康、病気についての情報が飛び交い、視聴者読者の不安をあおり、焦りを生み出すような内容も少なくない。

昨年秋、私の親父が肺癌で他界した。健康とは縁遠い生活を送っていたが、自分の好きなことをして太く生きたと傍から見ている感じがした。ある意味うらやましくも感じた。

自分に何か症状が出現すると、仕事柄いくつかの病名が頭の中に浮かんで来て、心配になったりすることがある。気が弱いもので、それがただの思い込みでも、何か健康が損なわれた気になる。

健康であるということは病気のことを知ることではなく、一生の中で病気のことを気にせずにとりだけ時間を過ごせるかということなのだろうか。そういう意味では、今年風邪を引かなかった自分もあまり健康とはいえないかもしれない。

ドクターアイ

図書室便り

(3月受入分)

- ・原著第10版キャンベル整形外科手術書1. 基本手技関節固定術関節形成術、総目次・総索引/藤井克之(総監訳)
- ・Q&A知っておきたいモルヒネと緩和ケア質問箱101/濱野恭一(監修)
- ・高脂血症治療ガイド2004年版/日本動脈硬化学会(編集)
- ・ICD-10精神および行動の障害臨床記述と診断ガイドライン/融道男(他監訳)
- ・医療・介護・福祉の個人情報保護ガイドH17年版/(財)医療情報システム開発センター(監修)
- ・保険医療用語事典/成田昌道(編著)
- ・改正病院会計準則とその手引H16年版/社会保険研究所(編集)
- ・診療報酬算定のための施設基準等事務手引施設基準と診療報酬H16年版/社会保険研究所(編集)
- ・保険医療材料算定の解釈H16年4月版/社会保険研究所調査室(編集)
- ・最新医療用語の基礎知識楽しくわかる医療経営(雑)学 医療制度改革・マーケティング編/工藤 高
- ・新人教育のなぜ?がわかる透析新人スタッフ・プリセプティ指導術/岡山ミサ子(他編集)
- ・病期でわかる指導がわかる腎不全患者の食事指導ガイド/折田義正(監修)
- ・第35回日本看護学会論文集(成人看護1・地域看護)/日本看護協会(編集)
- ・Educational Rehabilitation and Nursing for Aphasics in Japan: An Interdisciplinary Model / OKABE KATSUMI (他著)
- ・医療用医薬品識別ハンドブック2005/医薬情報研究所(編集)
- ・安岡正篤先生に学んだ私の人生/新井正明
- ・研修医純情物語先生と呼ばないで/川淵圭一
- ・ぼくのおじさん/川淵圭一
- ・カウンセリングの心/畠中捨太郎
- ・英語と日本語のはざままで/澤村榮一
- ・完全保存版患者が決めた!いい病院近畿・東海版/日高輝明(他編集)

《別冊・増刊号》

- ・別冊医学のあゆみ疲労の科学/渡辺恭良(編集)
- ・NEWMOOK整形外科17整形外科プライマリケア/越智隆弘(他編集)
- ・社会保険旬報臨時増刊地域医療費総覧'04グラフに見る都道府県・市町村の医療費/社会保険研究所(編集)

《ビデオ・DVD》

- ・マチコと大五郎のNO SMOKING LIFE IS BEST/(財)荒川区がん予防センター(企画)

リハ病院図書室

リハMOOK/神経疾患とリハ6/義肢装具とリハ7/小児のリハ8/ADL・IADL・QOL 9/編集主幹千葉直一 安藤徳彦
NSTが病院を変えた! 責任編集 東口高志

略語●平成はHに、リハビリテーションはリハに略します。

ち介護福祉士。鈴木賢さん(リハ病院作業療法士)。合田圭太郎さん(リハ病院理学療法士)。荒木志保さん(リハ病院理学療法士)。

本後稜史さん(本院理学療法士)。大家直美さん(老健いごつぱち理学療法士)。依岡大起さん(臨床工学部)。中山真紀さん(老健

いごつぱちソーシャルワーカー)。安藤保寛さん(リハ病院事務長)。

パンを買ってね 光の村のパンのバス

新館の北出入り口付近は毎週月曜、在宅総合ケアセンターは毎週木曜日に11時30分から13時まで販売しています。



編 ● 集 ● 後 ● 記

今年の桜は本当に待ち遠しくて、青空に美しい花びらが華麗に重ねられた時は感激でした。この季節になると桜を見ながら将来の夢を語り合った高校時代の親友のことを思い出します。彼女は石鍾山から滑落して脊椎を損傷し35年間を車椅子で生活されました。「障害者が主体的に生きられる社会に」と障害者福祉のために献身し一昨年に召されました。障害者の仲間たちは渡辺千種の遺作を整理して「青空の中の私」という小さな作品集を編集して

くださいました。「薄墨の桜に命重ねけり」「花冷えや支える言葉見つけよう」「葉桜や遠くにありし人の影」花も人もそれぞれの思いを抱えながら季節の一頁をめぐるのです。(歌)

3月の診療数

近森会 外来患者数	20,477人
近森会新入院患者数	841人
近森会 退院患者数	837人
地域医療支援病院紹介率	80.11%
近森病院平均在院日数	15.42日
近森会 平均在院日数	23.46日
近森病院救急車搬入件数	400件
うち入院件数	205件
手術件数	295件
うち全身麻酔件数	146件

企画情報室